

1 受賞団体・個人の名称

さんくちょう かんきょうほぜんたい
三区町環境保全隊
 (栃木県那須塩原市)

(問い合わせ先)

<http://www5.ocn.ne.jp/~sankucho/>

(経歴)

本地区は日本三大疎水である那須疎水の豊かな水に恵まれている。当地域では環境に配慮した農業を実践するため平成10年から合鴨農法に取り組み始め、平成18年には有機農業も行われるようになった。最近ではドジョウの増加やホタルの生育が確認されるなど、豊かな生態系が守られている。

(受賞時の経営内容) 79.41ha、(農家戸数)40名(戸)



2 生産面の取組

- ① 地域ぐるみ土壌診断や機械除草をするなど、地域一帯となって取り組んでいる。その他、粗植栽培、温湯消毒、堆肥施用、局所施肥、肥効調整型肥料の施用などの技術を実践。地域内水稻農家の9割以上が化学合成農薬、化学肥料の使用量を慣行農法の5割低減を実現している。
- ② 合理的な輪作体系、合鴨農法、米ぬかペレット散布、深水管理の組み合わせによる雑草防除技術の実践。
- ③ 有機JAS認定(H18年度:水稻6名)、エコファーマー認定(H19年度:水稻40戸))となっており積極的な取組がなされている。



エコファーマー認定者



合鴨農法

3 経営面の取組

- ① 特別栽培米や合鴨米のブランド化を進めるため都市部への積極的なマーケティング活動を実施
- ② 先進地視察、外部組織からの研修の受け入れ、有機農業の技術の公開展示などを実施



世田谷区民まつりでのPR



田園ウォークで有機公開ほ場(合鴨農法)をPR

4 取組の成果

- ① 地域内水稻農家の9割以上がまとまって農地・水・環境保全向上対策(先進的営農活動)を実施。
- ② 17組織311名の視察研修の受け入れの他、行政機関や学校職員、消費者、海外技術者等から多数の視察を受け入れている。
- ③ 水田の冬期湛水への取組により、数年前から白鳥が2羽飛来し、白鳥のいる光景が見られるようになっており、周辺住民を楽しませている。



白鳥の飛来



栃木県元気な農業コンクールで大賞受賞

5 地域社会への貢献

- ① 地域住民への環境保全型農業の理解促進や消費者との交流のための地域に根ざした活動(田園ウォーク、消費者との交流会、生き物調査、水質調査の実施、ビオトープの設置、教材提供、HPの開設、直売所での特別栽培米のPR活動)を実施し、環境保全型農業の啓発を行っている。
- ② 自治会全世帯への広報誌の発行等、多数の地域住民も巻き込んだ環境保全の活動を実施。



田園ウォークで農業用水の役割・水質検査の結果を報告、安全性をアピール



地域イベントで特別栽培米のおにぎり試食